

―長崎 厚 議員―

入札価格の事前公表と 最低制限価格制度(※1)の現状は

(町長) 時期を見極め検討したい

長崎 予定価格は、契

約金額を決定し適正な契
約を行うための基準とな
るものだが、以前、当町
でも導入されていた「予
定価格の事前公表」は、

入札・契約手続きの透明
性、採算が見込めない入
札、さらに契約担当者が
予定価格を漏えいして利
益を誘導する危険性を払
拭したことが高く評価
され、近隣町村でも採
用されている。

また、競争入札を行う
際に事前に設定する、落
札の下限額「最低落札価
格」は、過度の低価格入
札に対し、施行時の質の
低下など粗雑な工事を防

ぐため導入されている。

当町の「予定価格の事
前公表」と「最低制限価
格制度」の現状を伺う。

町長 予定価格の事前
公表は、価格の漏洩を防
ぐメリットがある一方、

当該近傍価格への入札が
誘導され、適切な積算を
行わずに受注する事態が
生じるなど、建設業者の
真の技術力、経営力によ
る競争を損ねる弊害もあ
り、また、総務省自治行
政局及び国土交通省土地
建設産業局長からの通知
もあり、平成26年4月1
日から試行的に行ってい
た予定価格の事前公表を
取りやめ、事後公表とし

たところである。

また、最低制限価格の
設定については、ダンピ
ング(※2)による弊害を
防止する役割はあるもの
の、契約内容に適合した
履行が十分に期待できる
業者を選定し、入札に参
加させているにも関わら
ず、発注者の裁量による
最低制限価格を設定し、
これを下回る価格で入札
した業者を排除すること
は、競争契約における競
争の利益を阻害し、制限
価格を事前に知ろうとす
る不正の可能性もあり、
現在、最低制限価格は設
定していないが、今後の
入札結果等を注視しなが

ら、必要に応じ制
度の導入について
検討を進めたい。

長崎 国からの
通知により、当町
は事前公表を取り
やめたとの事だが、
八雲町、森町は現
在も行っている。
この通知の効力は、

総務課長 国からの通

知は、地域の実情に応じ
採用するというのである
が、全国的には事後公表
の流れになってきている。

長崎 最低制限価格の

設定をする場合、予定価
格が事前公表されなけれ
ば、最低価格の積算は難
しいと思う。八雲町は低
入札価格調査制度(※3)、
森町は最低制限価格制度。
この2種類がある。

答弁の中で、最低制限
価格は設定していないが、
今後の入札結果等を注視
し、必要に応じ制度の導
入の検討を進めるとある
が、予定価格の事前公表



入札受付

についても合わせて検討
してはどうか。

町長 来年2月、新た
に入札する業者の指名願
いの申し込みがあり、時
期を見極め、その制度に
についても検討したい。

(※1) あらかじめ設定された
「最低制限価格」を下
回る入札があった場合
その入札者を失格とす
る制度

(※2) 不当廉売

(※3) あらかじめ設定された
「調査基準価格」を下
回る入札があった場合
その入札価格で適正な
履行が可能であるか否
かについて調査した上
で落札者を決定する制
度